



奈良市第5次総合計画

未来ビジョン2031

「わたし」からはじめる「わたしたち」のまち 奈良



10年後、あなたは、どのようなことをしていきたいですか？

10年後、奈良市がどんなまちであつたらいいと思いますか？

総合計画とは、奈良市が目指すまちの将来像を示し、また、その将来像を実現するための取組の方向性を体系的にまとめた、まちづくりを進めていくための基本となる計画です。
10年後、市民のみなさんが「住んでよかった」「住み続けたい」「関わりを持っていたい」と感じることができる奈良市の姿とは、いったいどのようなものなのでしょう。
市民のみなさんと一緒に考えました。

市民のみなさんとともに描いた10年後の奈良市の姿 ~「わたし」からはじめる「わたしたち」のまち 奈良 ができるまで~

市民ワークショップ

わたし×まち 2030

参加者それぞれが、「10年後にこんな自分でありたい」「10年後にこんなことをしていきたい」という姿を描き、それらを踏まえて「10年後に住みたい奈良市の姿」を考えるワークショップを開催しました。

一人ひとりの思いをグループに分かれて発表しあい、最後に参加者全員が会場で円になり、全体で互いが描く10年後の姿を共有しました。

市内5地域で6回に分けて開催し、合計187名分の10年後の「わたし」、「まち」に対する「思い」が集まりました。



この他、市職員を対象とした職員ワークショップも開催し、46名の職員が10年後の「わたし」「まち」、そして、10年後の市役所の姿を考えました。

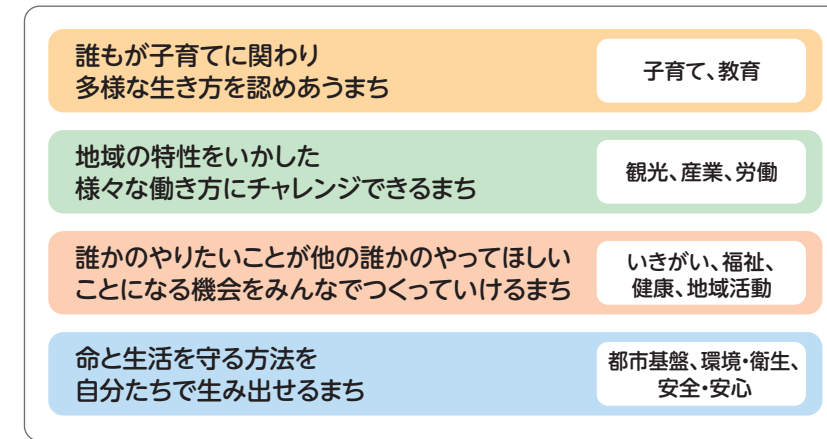
編集会議

市民ワークショップの参加者代表12名と職員ワークショップの参加者代表2名が集まり、市民ワークショップ・職員ワークショップで出された、全ての「わたし」「まち」の姿を、全員が納得するまで話し合いながら、4つのまちづくりの方向性に凝縮しました。さらに、その4つの方向性を包括する全体目標を都市の将来像として1つにまとめあげました。

都市の将来像

「わたし」からはじめるわたしたちのまち奈良

まちづくりの方向性



互いのつながりを大切に、今と未来をともにつくり出せる市役所

▲編集会議メンバーによる都市の将来像・まちづくりの方向性(案)



インタビュー、審議会等

■活動団体インタビュー

子育て支援、教育、産業・観光、福祉、防災・防犯、環境、地域コミュニティなどの分野で活動している市内の団体や事業者のみなさん(10団体)を対象に、インタビューを実施しました。



■出張インタビュー

市民が多く集まるイベント会場にアンケートボードを設置し、奈良市の「良いところ」や「お困りごと」についてインタビューを実施しました。また、楽しみながらまちの課題の解決アイデアを考えるカードゲームにもご参加いただきました。



■総合計画審議会

学識経験者、奈良市内で活動する団体、事業者等、11名の委員から、都市の将来像やまちづくりの方向性、総合計画の素案についてご意見をいただきました。



■市民意識調査

■パブリックコメント

2031年 のまちの姿

「わたし」からはじめる 「わたしたち」のまち 奈良

ひとりひとりが「わたし」の人生をつくっていくように、「わたしたち」自身が 主役となって、夢や希望にあふれる未来をつくっていけるまちを目指します。

「2031年のまちの姿」を実現するために、4つの「まちの方向性」を設定 しました。2031年に向けて、一緒にまちづくりを進めていきましょう。

まちの方向性

市民のみなさんが考えた10年後のまちのイメージ(抜粋)

I 誰もが子育てに関わり多様な生き方を認めあうまち

子どもをまちの未来そのものと捉え、家庭や学校だけでなく、地域の誰もが子育てに関わりま す。多様な育て方を受け入れあうことで、育つ人も育てる人もその人らしく生きられるまちを目指 します。

- 近所の親子と気軽に交流できるようなまち
- 小さな子からお年寄りまでの繋がりのある、住みよいまち
- 先生も子どもも、やりたいことができ、楽しめる学校があるまち
- 男性の育休も推進し、男性も女性も子育てをしながら働き続けられるまち



II 地域の特性をいかした様々な働き方にチャレンジできるまち

歴史あるまちから新しいまちまで。まちなかから山里まで。それぞれのまちの特性に目を向け、そ の魅力をいかした奈良市ならではの仕事の可能性を広げます。さらに、誰もが安心して自分が望む ように働けるまちを目指します。

- 誰でもどんな人でも働きやすいまち
- 地域の特産物、魅力を世代を超えて育て続けられるまち
- さらに外国人観光客を迎え、交流する仕組み・場所があるまち
- 農業で暮らせるまち



III 誰かのやりたいことが他の誰かのやってほしいことになる機会を みんなでつくっていけるまち

人とのつながりから生まれる楽しさや喜びを通して、まちへの愛着と誇り、生きがいを育みます。何 かを試してみたいという思いや行動が他の人の求めることにつながり、充実した暮らしを実現していけ るまちを目指します。

- みんなでみんなのことを考えて、それが実現できるまち
- 「30分だけ子ども預かれます」「植木の水やり、明日だけお願いします」が 気軽に言えるようなまち
- 元気に楽しく生活している100歳の方がたくさんいるまち
- 遺産ではなく、歴史・文化が生活に今も息づき溶け込んでいるまち



IV 命と生活を守るために自分たちで考え行動できるまち

安全・安心な生活を持続可能なものとするため、知恵と力を合わせて自分たちの命と生活を守りま す。それぞれができることを実践し、その積み重ねが土台となり、誰もが住みやすいと実感できるま ちを目指します。

- 災害対策が充実し、現在の豊かな自然環境が続くようなまち
- 障害者に優しい、自由に出かけられるまち
- 仕事、買い物、教育機関、病院等に行きやすいまち
- 空き家等がなく、住民も多く、楽しく活気のある住みたくなるようなまち



行政(奈良市)は、将来像を実現し、市民の思いに応える ために、「基本姿勢」を踏まえて施策に取り組みます。

基本 姿勢

互いのつながりを大切にし今と 未来をともにつくり出せるまち

市民と行政の協働によって、ひとづくり、しごと づくり、くらしづくり、まちづくりを進めます。 行財政運営を推進するまちを目指します。

「推進方針」は、「未来ビジョン」に示す「2031年のまちの姿」と「まちの方向性」の実現に向け、「基本姿勢」を踏まえて各分野で取り組む施策の方向性を、体系的に示すものです。

各章に、該当するSDGsのゴールを記載しています。



2031年のまちの姿

「わたし」からはじめる 「わたしたち」のまち 奈良

まちの方向性 I

誰もが子育てに関わり
多様な生き方を認めあうまち

重点分野1
未来を育てる
(子育て支援)

第1章 ひとづくり
〔子育て、教育、人権、男女共同〕

- 1 母子保健の推進と子育て家庭への支援の充実**
 - ①切れ目のない相談・支援体制の推進
 - ②妊産婦・乳幼児保健の充実
 - ③様々な状況にある子育て家庭への支援の充実
- 2 子育て環境の充実**
 - ①子どもの心豊かな育ちの支援
 - ②子どもの健全育成の推進
 - ③子育てにやさしい地域づくりの推進
- 3 学校教育の充実**
 - ①学力の向上
 - ②奈良らしい教育の推進
 - ③学習環境の充実
- 4 教育支援体制の充実**
 - ①児童・生徒の支援体制の強化
 - ②地域と学校の協働による取組の推進
 - ③教職員への支援体制の充実
- 5 人権と平和の尊重**
 - ①人権啓発活動の推進
 - ②人権教育の推進
- 6 男女共同参画社会の実現**
 - ①男女共同参画の推進
 - ②女性活躍の推進



まちの方向性 II

地域の特性をいかした様々な
働き方にチャレンジできるまち

重点分野2
活気を生み出す
(経済活性化)

第2章 しごとづくり
〔観光、産業・労働〕

- 1 観光・交流の促進**
 - ①観光客の誘致と観光消費額増加に向けた取組の推進
 - ②都市間・地域間交流の活性化
 - ③地域の資源を生かしたにぎわいの創出
- 2 商工・サービス業の活性化**
 - ①商工業の充実と支援
 - ②起業家の育成
 - ③企業誘致の強化
- 3 農林業の振興**
 - ①農業・農村地域の活性化
 - ②森林環境の保全
- 4 雇用・労働環境の充実**
 - ①多様な働き方の実現
 - ②ワーク・ライフ・バランスの取れた労働環境への支援



まちの方向性 III

誰かのやりたいことが
他の誰かのやってほしいことになる
機会をみんなでつくり出せるまち

重点分野3
生活をつなぐ
(健康長寿)

第3章 暮らしづくり
〔福祉、健康、地域活動、いきがい、文化〕

- 1 地域福祉と総合的な生活保障の推進**
 - ①総合的な相談支援体制の整備
 - ②セーフティネットの安定的運営
 - ③子ども・若者育成支援の推進
- 2 障害者福祉の充実**
 - ①障害者・児への支援の充実 ②合理的配慮の普及・啓発
- 3 高齢者福祉の充実**
 - ①地域包括ケアシステムの構築
 - ②将来も安心できる福祉サービスの継続
- 4 医療体制の充実と健康の増進**
 - ①地域医療体制の充実
 - ②データを活用した保健事業の推進
 - ③生きることの包括的支援
 - ④健康危機管理体制の整備
- 5 地域コミュニティと市民活動の活性化**
 - ①地域活動の推進
 - ②ボランティア・NPO活動の活性化
- 6 文化・スポーツの振興**
 - ①市民文化と都市文化の振興
 - ②スポーツ活動の推進とスポーツ産業の振興
- 7 社会教育の推進**
 - ①公民館の活用 ②図書館の充実
- 8 文化遺産の保存と活用**
 - ①文化財の保存 ②文化財の活用と啓発



まちの方向性 IV

命と生活を守るために
自分たちで考え行動できるまち

重点分野4
安全を守る
(防災・減災)

第4章 まちづくり
〔安全・安心、環境・衛生、都市基盤〕

- 1 防災対策の充実**
 - ①防災・減災に対する体制の強化
 - ②防災・減災に対する意識の向上
- 2 消防・救急救助体制の充実**
 - ①消防活動体制の強化
 - ②救急救助体制の充実
- 3 防犯対策と消費者保護の推進**
 - ①防犯力の向上 ②消費者への支援の推進
- 4 環境の保全**
 - ①環境保全による地域課題の解決
 - ②ごみ減量化と適正処理の推進
- 5 生活衛生・環境衛生の向上**
 - ①環境美化の推進 ②生活環境と衛生水準の維持・向上
 - ③動物愛護の推進
- 6 土地・景観の整備**
 - ①計画的な土地利用の推進 ②奈良にふさわしい景観の保全・創出及び歴史的風致の維持・向上
- 7 交通基盤の整備と交通安全の確保**
 - ①交通体系の構築 ②道路整備の推進
 - ③交通安全対策の推進
- 8 住環境の向上**
 - ①良好な住環境の形成 ②公園・緑地の整備
- 9 利水・治水対策の推進**
 - ①水道水の安定供給 ②下水環境の向上
 - ③河川・水路の整備



基本姿勢

互いのつながりを大切にし 今と未来をともに作り出せるまち

第5章 しくみづくり
〔協働、行財政運営〕

- 1 市民参画と開かれた市政の推進**
 - ①市政への市民参画の推進 ②協働によるまちづくりの推進
 - ③市政情報の積極的な発信と戦略的な広報の推進

- 2 行財政改革の推進**
 - ①健全な財政基盤の構築 ②行財政運営の効率化
 - ③人材育成と組織力の向上 ④先進技術を利用した行政サービスの向上



『わたしたち』のまちを、一緒につくっていきませんか

まちの姿は、まちで暮らしている人、まちで活動している人、お店、企業、学校など、さまざまな主体がまちや人と関わる中でつくれます。

市民のみなさんと考えた、10年後のまちの姿の実現に向け、市では様々な取り組みを進めていますが、地域の課題が多様化・複雑化する今、行政だけで一つ一つの課題に対応するには限界があります。

そんな中、自発的に自分たちの資源やノウハウを生かしながら、人や地域との豊かなつながりをつくっていただいている姿があり、それはとても大きな力だと感じています。

わたしたちの住むまちは、行政だけでなく、わたしたちひとりひとりがつくっていくものです。

あなたの身近なことや好きなことがまちづくりにつながるかもしれません。

できることから始めてみませんか。

『わたし』からはじめる『わたしたち』のまち 奈良 へ。

奈良市第5次総合計画の計画期間

年度	2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)	2025 (令和7)	2026 (令和8)	2027 (令和9)	2028 (令和10)	2029 (令和11)	2030 (令和12)	2031 (令和13)
未来ビジョン (期間10年)	2022(令和4)年度～2031(令和13)年度									
推進方針 (期間5年)	前期 2022(令和4)年度～2026(令和8)年度					後期 2027(令和9)年度～2031(令和13)年度				

総合計画についてもっと詳しく知りたいと思ったら

■奈良市第5次総合計画はこちらで読むことができます

奈良市ホームページ

奈良市 第5次総合計画

検索

市役所(行政資料コーナー)、出張所、行政センター、図書館



未来ビジョン2031

奈良市第5次総合計画(概要版)

令和4年3月策定

編集・発行：奈良市総合政策部総合政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

TEL：0742-34-1150(課直通) FAX：0742-34-4953

Eメールアドレス：soukei@city.nara.lg.jp